

学生団体スマセレの活動と若者の消費トラブルについて

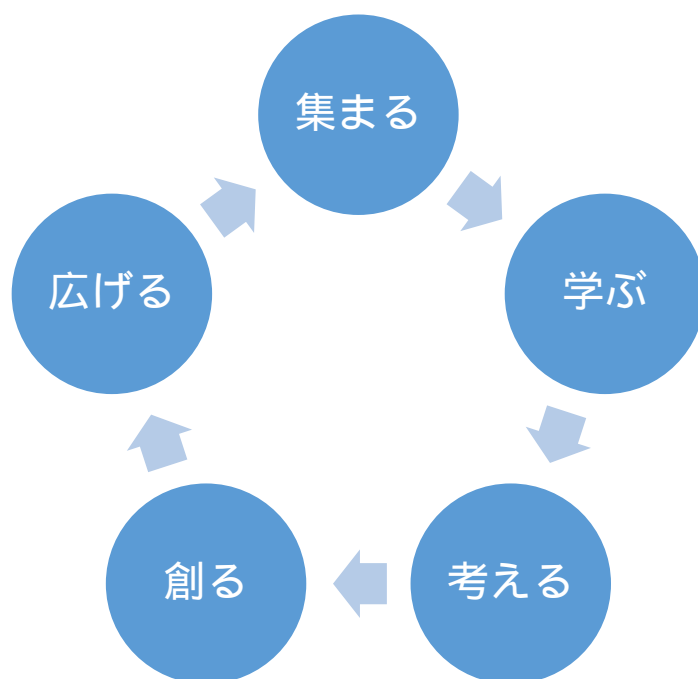
兵庫県立大学 理学部 生命科学科 学生
田中 喜陽

1 学生団体スマセレとは？

兵庫県くらしのヤングクリエイターとして消費者教育の活動していた大学生がより幅広い若者を巻き込むために2016年3月に設立した団体、兵庫県立大学の5名ではじまった活動は、6月より他大学のメンバーも迎え、兵庫を中心に関西・関東・中部の15大学50名弱のメンバーで活動している。

日常の買い物はもちろん人生における結婚や就職など様々な選択の場でかしこい選択のできる若者の育成と消費者市民社会の実現を目指し、幅広い活動を行っている。

2 活動内容



* セミナー・ワークショップ

学生が学ぶところからはじめ、企画の立案・運営までを行う実行委員会を兵庫県や大学生協の協力をいただきながら結成し企画を行っている。専門家や企業などに講師協力をいただいて質の高い企画にしている。この場でも啓発を必ず行うようにしている。



* 啓発イベント

駅前などで啓発活動を行っている。啓発活動中に出た質問などを共有し、事後・事前の学習会に活かしている。



* 啓発ツールの作成

新入生向け啓発チラシ <http://www.young-creator.net> から電子版がご覧になれます。



一緒に「かっこいい消費者」になりませんか？



こんなトラブルに気をつけよう！

消費者トラブルに巻き込まれたための7か条

1. 大抵は「おまかせ」で済ませず、内容をよく確認してください。自分の判断で決断を促されたり、おまかせで済ませたりしないようにしましょう。
2. 契約内容を確認して、おまかせで済ませず、内容をよく確認してください。自分の判断で決断を促されたり、おまかせで済ませたりしないようにしましょう。
3. 契約内容を確認して、おまかせで済ませず、内容をよく確認してください。自分の判断で決断を促されたり、おまかせで済ませたりしないようにしましょう。
4. 契約内容を確認して、おまかせで済ませず、内容をよく確認してください。自分の判断で決断を促されたり、おまかせで済ませたりしないようにしましょう。
5. 契約内容を確認して、おまかせで済ませず、内容をよく確認してください。自分の判断で決断を促されたり、おまかせで済ませたりしないようにしましょう。
6. 契約内容を確認して、おまかせで済ませず、内容をよく確認してください。自分の判断で決断を促されたり、おまかせで済ませたりしないようにしましょう。
7. 契約内容を確認して、おまかせで済ませず、内容をよく確認してください。自分の判断で決断を促されたり、おまかせで済ませたりしないようにしましょう。

<オンラインゲーム> **<SNSトラブル>** **<ワンクリック誘惑>**

ひょうご「消費者ガ」アッププラン

これまでのくらしのヤングクリエイターによる消費者教育の取組

くらしのヤングクリエイターは、2014年「くらしのヤングクリエイター」を立ち上げ、消費者教育の取組を進めています。この活動を通じて、消費者の権利意識を高め、安心して消費できるよう支援しています。

くらしのヤングクリエイターの活動

- 消費者教育の取組
 - ・消費者教育の取組
 - ・消費者教育の取組

くらしのヤングクリエイターの大学生、OB・OGなど、世代をこえた活動

くらしのヤングクリエイターは、大学生、OB・OGなど、世代をこえた活動を行っています。これにより、消費者教育の取組がより広範囲にわたって進められています。

コンテンツ・Webサイトの紹介

「くらしのヤングクリエイター」

このサイトでは、消費者教育に関する様々なコンテンツを提供しています。Webサイトを通じて、消費者の権利意識を高め、安心して消費できるよう支援しています。

だまされた、おかしいな、しまった、困った、と思ったら

一人で悩まず、最寄りの消費生活相談窓口にお気軽にご相談ください！

相談無料 **秘密厳守**

消費者ホットライン 188

兵庫県企業市民消費生活院

兵庫県企業市民消費生活院は、消費者の権利意識を高め、安心して消費できるよう支援しています。

UNIV 大学生協関西北陸事業連合

UNIV 大学生協関西北陸事業連合は、消費者教育の取組を進めています。

3 若者の消費トラブル

- ・ SNS
- ・ ワンクリック請求
- ・ ネットワークビジネス
- ・ 電子商品

どこからがクレームになるのかという判断ができず相談しない学生も多い。

4 今後に向けて

- ・ 学生が興味をもって主体的に関われるような企画作りが大切である。
- ・ 学生が主体的にするピア・ラーニングで共感の輪を広げていくことが大切である。
- ・ 大学生活は4年間しかなく、OB・OGはもちろん行政・事業者・地域とともに受け継いで発展させていく必要がある。
- ・ 売り手と買い手の双方にとってフェアな社会を目指したい。また、そのような事業者になれる若者の育成を行いたい。
- ・ 学生は、社会経験も少なく、フェアかどうかの判断ができないことがある。